

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名：『2型糖尿病に対する経口セマグルチドの安全性および有効性の検討』

研究機関名：東邦大学医療センター大森病院

研究責任者： 薬剤部

職位・氏名： 主任・西村 功史

【研究の目的】

経口セマグルチドは、GLP-1受容体作動薬であり、糖尿病治療における標準的な治療薬の一つです。先行して発売された注射製剤の臨床データの蓄積により、心血管疾患リスクの高い患者様や慢性腎不全の患者様においては第一選択薬として位置付けられており、今後、使用頻度の増加が予想される薬剤です。しかし、セマグルチドの吸収は胃内のpHに依存するとされ、併用薬剤の種類や胃切除などの既往歴を有する方は、十分な臨床効果が得られない可能性が示唆されています。

そのため、本研究では、経口セマグルチドの使用実態調査を行い、併用薬剤や既往歴などによる経口セマグルチドの臨床効果や安全性を検討します。経口セマグルチドの効果的な血糖改善作用を示し、かつ副作用リスクが最小となる患者群を明らかにすることは、今後の2型糖尿病に対する治療戦略を考える上で有用な情報となることが期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2021年2月～2023年3月までに東邦大学医療センター大森病院全診療科において

セマグルチド(販売名：リベルサス)を投与された方(ただし小児、透析患者は除く)

方 法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、等

【個人情報について】

研究に利用する情報は、個人を識別可能な氏名、生年月日、住所、カルテ、ID番号は収集する個人情報からは削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 _____ 薬剤部

職位・氏名 _____ 主任・西村 功史

電話 03-3762-4151 内線 PHS:78810